

令和7年度
スポーツ推進のまとめ

春日部市教育委員会

スポーツ推進課

■ も く じ ■

1	令和7年度の施策の方向性	P	1
2	令和7年度重点施策	P	1
3	事業		
	(1) スポーツ教室(出前講座等を含む)	P	2
	(2) 体力づくり ・健康づくりのつどい ・民間等プール利用事業	P	11
	(3) スポーツ大会 ・春日部大風マラソン大会 ・健康スポ・レクフェスタ2025 ・市民体育祭地区大会 ・市民体育祭種目別大会	P	13
	(4) 表彰	P	19
	(5) 後援	P	20
	(6) スポーツ推進審議会	P	20
	(7) スポーツ推進委員協議会	P	21
	(8) スポーツ関係団体会議等	P	22
	(9) スポーツ行事関係の主な会議	P	23
	(10) 利用調整会議	P	23
	(11) 情報収集・結果まとめ・広報活動	P	23
	(12) 学校体育施設開放事業	P	24
	(13) 学校校庭夜間照明施設	P	25
	(14) 体育施設利用状況	P	26
4	まとめ	P	28

1 令和7年度の施策の方向性

第2次春日部市総合振興計画後期基本計画における「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」、そして、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」を実現するためには、「だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりを進めること」が必要です。

近年は、健康意識の高まりや多様なスポーツニーズへの対応が求められる一方で、担い手の確保や体育施設の老朽化などが課題となっています。

このような状況を踏まえ、令和7年度は、市民がスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、スポーツ活動への支援を進めることが必要です。あわせて、既存体育施設の適切な維持管理と計画的な施設整備を進め、スポーツ環境の充実を図る必要があります。

これらを踏まえ、「するスポーツの推進」「みるスポーツの推進」「ささえるスポーツの推進」「既存体育施設の維持管理と利用促進」「体育施設整備の推進」の『5つの柱』を重点施策として位置付けます。

2 令和7年度重点施策

1 「するスポーツ」の推進

- (1) スポーツ教室の充実
- (2) 各種イベントの充実と推進
- (3) 地域スポーツの充実と普及
- (4) パラスポーツの普及と啓発
- (5) 総合型地域スポーツクラブとの連携

2 「みるスポーツ」の推進

- (1) トップレベルの大会誘致
- (2) スポーツ大会・イベント時における地域活性化の推進
- (3) スポーツイベントの情報発信
- (4) 本市出身・ゆかりがある選手の紹介
- (5) トップアスリートとの交流

3 「ささえるスポーツ」の推進

- (1) スポーツ・レクリエーション団体への支援と連携
- (2) 学校活動等への支援
- (3) 指導者の育成と資質の向上
- (4) 各種イベントへの協力依頼
- (5) ボランティア活動の意識の高揚

4 既存体育施設の維持管理と利用促進

- (1) 補修・維持修繕
- (2) 利用状況の把握
- (3) 利用者との連携
- (4) 指定管理者への継続監視と指導
- (5) 学校開放の促進

5 体育施設整備の推進

- (1) 春日部市スポーツ施設マネジメント計画への取組
- (2) 春日部市総合体育施設整備基本計画への取組
- (3) 総合体育施設事業用地の取得
- (4) 大沼陸上競技場のリニューアル

3 事業

(1) スポーツ教室

令和7年度 スポーツ教室 出席状況のまとめ

(主催：春日部市教育委員会)

					出席者総数		出席率	
教室名			在籍数	平均年齢	R7	R6	R7	R6
開催期間	回数	対象			増減		増減	

親子スポーツ教室			64人	37.7歳	171人	240人	55%	70%
5/24～6/21	全5回	親子	(25組)	4.0歳	△69人		△15%	

健康いろいろエクササイズ教室			40人	64.1歳	154人	153人	77%	73%
6/4～7/2	全5回	一般			1人		4%	

楽しく軽スポーツ体験教室			12人	60.7歳	49人	29人	82%	73%
9/4～10/2	全5回	一般			20人		9%	

はじめてみようソフトバレーボール教室			39人	54.1歳	129人	106人	66%	73%
10/7～11/4	全5回	一般			23人		△7%	

楽しくドッジボール教室			58人	44.9歳	164人	165人	57%	50%
11/1～11/29	全5回	親子	(22組)	8.6歳	△1人		7%	

スポーツ教室合計			213人		667人	693人	63%	66%
					△26人		△3%	

事業名	親子スポーツ教室	対象	市内在住の3歳以上の未就学児と保護者	在籍数	64人 (25組)
ねらい	親子でスポーツを楽しみながら、健康維持と体力づくりを図る。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会			周知方法	広報かすかべ・チラシ等
会 場	市民体育館 アリーナ			受付方法	電子申請
講師の 職名・氏名	春日部市スポーツ推進委員協議会 小笠原 麻理・山田 農久・久保 聡子・木内 尚幸				
月日（曜日）	時 間	在籍数	出席者数	出席率	内 容
5月24日(土)	10:00 ～ 12:00	62人	39人	63%	・リズム体操 ・機械運動 ・しっぽとり など
5月31日(土)		62人	34人	55%	
6月7日(土)		62人	27人	44%	
6月14日(土)		62人	28人	45%	
6月21日(土)		62人	43人	69%	
全5回	全10時間	310人	171人	55%	
成果・参加者の声など	5回継続的に行うことで、親同士、こども同士の交流が多くみられました。参加者からは「普段やらない種目に取り組めてよかった。」「充実した内容で楽しかった。」といった好評の声を多くいただきました。また、「年に何回もやってほしい」「冬の時期にもやってほしい」といった意見もありました。				
課題と展望	幼児期のスポーツ教室ということで、様々な運動を取り入れることが大切であると考えます。年少から年長まで参加しており、発達段階が異なるため、年齢等に応じて運動強度を細かく変えるなど、その日の出席者に応じて柔軟に対応できるような準備や工夫が必要と感じました。				

○年齢別参加者数

9歳以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	平均年齢	
29人	0人	3人	17人	14人		
50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計	保護者	子
0人	0人	0人	1人	64人	37.7歳	4.0歳

○地区別参加者数

粕壁地区	内牧地区	豊春地区	武里地区	幸松地区	豊野地区	団地地区
4組	1組	6組	7組	1組	1組	0組
庄和地区	市外	不明	合計	※在籍者を対象に複数回開催		
5組	0組	0組	25組			

○前年度との比較

	出席者総数	出席率
令和7年度	171人	55%
令和6年度	240人	70%

事業名	楽しく軽スポーツ 体験教室	対象	18歳以上の 市内在住・在勤・在学者	在籍数	12人
ねらい	軽スポーツなどの体験を通して、運動の習慣化、健康の保持増進をはかる。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会			周知方法	広報かすかべ・チラシ等
会 場	市民体育館 アリーナ			受付方法	電子申請
講師の 職名・氏名	春日部市スポーツ推進委員協議会 荒井 秀雄 春日部市教育委員会スポーツ推進課 鈴木・金子				
月日（曜日）	時 間	在籍数	出席者数	出席率	内 容
9月 4日（木）	10:00 ～ 正午	12人	12人	100%	・ボッチャ ・ラダーゲッター ・室内モルック ・ドッジビー ・ミニテニス ・スマイルボウリング ・フラパレーボール ・体力測定 など
9月11日（木）		12人	10人	83%	
9月18日（木）		12人	9人	75%	
9月25日（木）		12人	8人	67%	
10月2日（木）		12人	10人	83%	
全5回	全10時間	60人	49人	82%	
成果・参加者 の声など	昨年度までの課題を踏まえ、開催時間を午前中に、対象を18歳以上に、会場を市民体育館に変更しての開催となりました。出席者数は前年度比20名増となりました。和気あいあいとした雰囲気では様々な軽スポーツに触れていただき、アットホームな教室となりました。 参加者からは「楽しく参加できた。」、「みんな仲良くなれて、楽しかった。」などの声をいただき、一人一人の満足度を高めることができました。一方で「もう少し人数を増やしてほしい」といった参加者数についての意見がありました。				
課題と展望	アリーナ内が非常に蒸し暑く、大量の汗をかきながらの教室となったため、参加者数を増やすためにも、開催時期をスポーツに取り組みやすい10月頃に変更するなどの検討が必要と考えます。				

○年齢別参加者数

9歳以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	
	0人	0人	1人	1人	
50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計	平均年齢
3人	3人	4人	0人	12人	60.7歳

○地区別参加者数

粕壁地区	内牧地区	豊春地区	武里地区	幸松地区	豊野地区	団地地区
4人	0人	3人	2人	2人	0人	0人
庄和地区	市外	不明	合計	※在籍者を対象に複数回開催		
1人	0人	0人	12人			

○前年度との比較

	出席者総数	出席率
令和7年度	49人	82%
令和6年度	29人	73%

事業名	はじめてみようソフトバレーボール教室	対象	18歳以上の 市内在住・在勤・在学者	在籍数	39人
ねらい	スポーツをする楽しさを教えつつ、継続して練習することで、スキルアップと達成感を味わってもらう。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会 春日部市ソフトバレーボール協会			周知方法	広報かすかべ・チラシ等
会 場	アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部 サブアリーナ			受付方法	電子申請
講師の 職名・氏名	春日部市 春日部市スポーツ推進委員協議会 成田 裕子・野口 卓造 春日部市教育委員会スポーツ推進課 小嶋・渡邊				
月日（曜日）	時 間	在籍数	出席者数	出席率	内 容
10月 7日(火)	9:30 ～ 11:30	38人	34人	89%	ソフトバレーボール
10月14日(火)		39人	26人	67%	
10月21日(火)		39人	25人	64%	
10月28日(火)		39人	23人	59%	
11月 4日(火)		39人	21人	54%	
全5回	全10時間	194人	129人	66%	
成果・参加者の 声など	ソフトバレーボールを、計5回の教室で継続して行うことでステップアップを目指すことを目的に実施しました。経験者も多く、経験者が未経験者に教える場面もみられ、活気ある教室となりました。参加者からは、「久しぶりにバレーができて楽しかった。」、「次回も参加したい。」といった声がありました。また、教室の途中で参加者から、教室の参加者内でサークルを立ち上げたり、既存の団体に参加する等、ソフトバレーボールを継続して行っていきたいという要望がありました。最終的には、既存の団体の練習に参加することになり、教室を通じて新規競技者を確保することができました。				
課題と展望	今回の教室は毎回遅れてくる参加者が多い印象があった。教室の開始が9時半からだ主婦層が多いため、負担が大きい可能性があるため、10時開始に変更してもよいのではないかと思います。				

○年齢別参加者数

9歳以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	
0人	0人	1人	2人	11人	
50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計	平均年齢
14人	6人	5人	0人	39人	54.1歳

○地区別参加者数

粕壁地区	内牧地区	豊春地区	武里地区	幸松地区	豊野地区	団地地区
10人	9人	6人	5人	2人	2人	0人
庄和地区	市外	不明	合計	※在籍者を対象に複数回開催		
5人	0人	0人	39人			

○前年度との比較

	出席者総数	出席率
令和7年度	129人	66%
令和6年度	106人	85%

事業名	楽しくドッジボール教室	対象	市内在住の小学生とその保護者	在籍数	58人 (22組)
ねらい	投力を中心とした体力づくりをし、ドッジボールの基礎を楽しく学びながら習得する。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会			周知方法	広報かすかべ・チラシ等
会 場	市民体育館 アリーナ			受付方法	電子申請
講師の 職名・氏名	春日部市スポーツ推進委員協議会 樺田 正俊・国井 秋男・小守谷 利幸・小暮 正好				
月日（曜日）	時 間	在籍数	出席者数	出席率	内 容
1 1 月 1 日（土）	9 : 3 0 ～ 1 1 : 3 0	58人	44人	76%	・ドッジボール ・なわとび など
1 1 月 8 日（土）		58人	10人	17%	
1 1 月 1 5 日（土）		58人	36人	62%	
1 1 月 2 2 日（土）		58人	34人	59%	
1 1 月 2 9 日（土）		58人	40人	69%	
全 5 回	全10時間	290人	164人	57%	
成果・参加者の声など	「たくさん友達ができて楽しかった。」「低学年でも参加できる内容で良かった。」等、こどもからも保護者からも好意的な意見をたくさんいただきました。一方で、最終回に行った投力測定では、残念ながら1回目より記録が下がってしまう参加者もいました。また、「実施時間帯は午後の方がいい。」という意見や「なわとびは行わなくてもいい。」という意見もありました。				
課題と展望	昨年と同様、開催時期が秋の学校行事等と重なり、出席者数が日によって少ない日もありました。全5回の合計出席者数・出席率も昨年とほとんど同数であったため、開催時期を見直す必要があると感じました。また、楽しんでもいただける教室にすることはもちろんだが、「ドッジボール教室」なので、ボールの投げ方・捕り方・逃げ方等、技術的な面の向上が図られるような指導の工夫も検討していきます。				

○年齢別参加者数

9 歳 以下	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	平均年齢	
16人	11人	0人	4人	20人		
5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以上	不 明	合 計	保護者	子
2人	2人	0人	3人	58人	44.9歳	8.6歳

○地区別参加者数

粕壁地区	内牧地区	豊春地区	武里地区	幸松地区	豊野地区	団地地区
4組	4組	1組	2組	2組	3組	0組
庄和地区	市外	不明	合計	※在籍者を対象に複数回開催		
6組	0組	0組	22組			

○前年度との比較

	出席者総数	出席率
令和7年度	164人	57%
令和6年度	165人	50%

事業名	健康いろいろエクササイズ教室	対象	18歳以上の 市内在住・在勤・在学者	在籍数	40人
ねらい	エアロビクスをはじめとした様々なエクササイズを通じて、スポーツの楽しさを知るとともに、参加者のスポーツ・レクリエーションの習慣化を図る。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会			周知方法	広報かすかべ・チラシ等
会 場	中央公民館 講堂			受付方法	電子申請
講師の 職名・氏名	春日部市スポーツ推進委員協議会 宇南山 瞬子・逸見 映子・飯岡 麻世・西川 友子				
月日（曜日）	時 間	在籍数	出席者数	出席率	内 容
6月 4日（水）	14:00 ～ 16:00	40人	34人	85%	・有酸素運動 ・ボールエクササイズ ・ズンバ ・ボディメンテナンスなど
6月11日（水）		40人	31人	78%	
6月18日（水）		40人	33人	83%	
6月25日（水）		40人	25人	63%	
7月 2日（水）		40人	31人	78%	
全5回	全10時間	200人	154人	77%	
成果・参加者の声など	「楽しかった。」「もっとやってほしい。」といった声が多く、大変好評でした。また、「いつまでも続けてほしい、見習いたい」といった声もあり、講師の人気も高い教室です。 回数を重ねるごとに運動強度を高め、5回継続的に開催する教室の特性を大いに活かしながら、参加者の満足度向上に努めました。				
課題と展望	本格的な指導で毎回好評を得ていますが、参加者のほとんどが女性であり、参加者からも「男性も参加しやすいイベントがあるといい。」という意見もいただいています。今後は男女問わず参加しやすい内容や日程となるよう検討するとともに、男性でも気軽に参加できるよう周知方法にも工夫が必要であると考えます。				

○年齢別参加者数

9歳以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	
0人	0人	1人	1人	3人	
50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計	平均年齢
6人	11人	18人	0人	40人	64.1歳

○地区別参加者数

粕壁地区	内牧地区	豊春地区	武里地区	幸松地区	豊野地区	団地地区
11人	5人	6人	4人	4人	4人	3人
庄和地区	市外	不明	合計	※在籍者を対象に複数回開催		
2人	1人	0人	40人			

○前年度との比較

	出席者総数	出席率
令和7年度	154人	77%
令和6年度	153人	73%

令和7年度地域巡回スポーツ教室出席状況まとめ

主催：春日部市教育委員会（春日部市スポーツ推進委員協議会への委託事業）

事業名	地域巡回スポーツ教室	対象	市内在住、在学、在勤者 (小学生以下は保護者同伴)	参加数	482人
ねらい	地域の実情に即した地域独自のスポーツ推進を図るとともに、多くの地域住民の参加を促すことにより、住民の健康の保持増進と体力の維持向上、地域の青少年の健全育成、家族間のコミュニケーションを形成し、地域の交流と結びつきを高め、総合型地域スポーツクラブ結成への移行へとつなげていくことを目的とする。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会		周知方法	広報かすかべ チラシの配布 等	
会場	《市内4か所の小学校体育館、1カ所の体育施設、1カ所の公民館》 市民体育館・内牧小・小渕小 幸松市民センター・藤塚小・川辺小		受付方法	直接会場	
期 間	10月4日～12月13日までの土曜日		種 目	フラバレーボール等	
回 数	全会場 合計18回		時 間	主に19:00～20:30	

○参加者数

会 場		大人	こども	合計
粕壁・豊春・武里 地区合同	市民体育館	168人	57人	225人
内牧	内牧小	25人	4人	29人
幸松	小渕小・幸松市民センター	29人	17人	46人
豊野	豊野小	61人	49人	110人
庄和	川辺小	56人	16人	72人
合 計		339人	143人	482人

○前年度との比較

令和7年度		
大人	子ども	合計
339人	143人	482人
令和6年度		
大人	子ども	合計
462人	120人	582人
比較増減		
大人	子ども	合計
△123人	23人	△100人

成果・参加者の声など	各地区の特色を生かし、フラバレーボールや、ミニテニス、ボッチャ等様々な種目を体験することができる教室となりました。 「様々な種目を体験することができて楽しい」、「子どもと一緒に参加できて嬉しい」などの声があり、とても好評でした。 また、「年間を通して、開催してほしい」「他の種目も取り入れてほしい」などの要望もありました。
課題と展望	本年度は5地区6会場において、全18回の教室を実施しました。今回は、学校体育館避難所空調設備工事のため、粕壁地区、豊春地区、武里地区の3地区が合同での開催となりましたが、多くの参加者が集まり、参加者それぞれの要望にあった様々な種目を実施できました。一方で、参加される方の多くが複数地区に参加しているという現状もあり、新規参加者の獲得に向けた取り組みも必要です。来年度は全体開催を1回予定しているため、多くの市民の方に参加していただけるよう周知方法を工夫していきたいです。また、例年リピーターの参加も多く、年間を通した開催の要望があることは良い部分ですが、当該教室が開催されなくても参加者が主体的な活動に移っていけるような動機付けを行っていくことも必要と考えます。

令和7年度 出前講座 派遣依頼 状況のまとめ

出前講座取りまとめ担当課：社会教育課

期 間	令和7年6月2日～令和7年12月23日	種 目	軽スポーツ
-----	---------------------	-----	-------

○参加者数

NO.	団体名	開催日時	会場	受講人数	種目
1	春日部市放課後 こども教室連絡会議	6月2日(月) 15時～16時	宮川小 体育館	66人	ドッチビー ビーチボールバレー
2	春日部市放課後 こども教室連絡会議	6月9日(月) 15時～16時15分	武里南小 体育館	47人	ドッチビー
3	ふれあい大学 35期同窓会	6月17日(火) 10時～11時30分	視聴覚センター 視聴覚ホール	22人	ボッチャ
4	いきがい大学 庄和の会	6月23日(月) 11時～13時	庄和体育館	10人	ボッチャ
5	春日部市放課後 こども教室連絡会議	6月23日(月) 15時～16時20分	幸松小 校庭	40人	ボッチャ
6	かすかべ学園 南桜井校	8月21日(木) 14時～15時30分	かすかべ学園 南桜井校	10人	ボッチャ
7	ふれあい大学 豊春地区校友会	10月16日(木) 9時～12時	豊春第二公民館	20人	ボッチャ
8	彩の春20	10月17日(金) 9時30分～11時30分	粕壁市民センター (中央公民館)体育館	20人	ユニカール
9	いきがい大学春日部学 園Ⅱ-4期校友会	11月12日(水) 10時～12時	春日部市民活動セン ター 4階会議室1	13人	ボッチャ
10	六軒町自治会	11月14日(水) 9時～11時	藤塚第一公園	17人	モルック
11	春日部市放課後 こども教室連絡会議	11月17日(月) 15時～16時	豊春小 校庭	22人	モルック
12	春日部市放課後 こども教室連絡会議	12月1日(木) 15時～16時15分	武里南小 校庭	35人	モルック ペタンク
13	いちごの会	12月23日(火) 9時～12時	粕壁南公民館 1階ホール	18人	ボッチャ
合計				340人	

○前年度との比較

	令和7年度	令和6年度	比較
派遣依頼講座数	13講座	20講座	△7講座
受講者数	340人	703人	△363人

○種目別実施数

種目	回数
ボッチャ	7回
モルック	3回
ドッチビー	2回
ペタンク	1回
ビーチボールバレー	1回
ユニカール	1回

成果・参加者の 声など	「用具を購入して継続的に活動に取り入れていきたい」や「来年度は、他の種目も経験してみたい」などの声があり、今後に繋がる前向きなお言葉をいただける等大変好評でした。
課題と展望	今年から1週間に1団体しか出前講座を受講することしかできないや、出前講座以外の教室・会議がある場合は引き受けない等の制限を設けたため、昨年度に比べ講座数も減り、職員の負担が大幅に減った。 しかし、以前として職員に負担はかかっているため、毎年同じ種目を受講している団体には用具貸出で対応する等、職員の負担を最小限に抑えながら、受講者が満足していただけるよう工夫していく必要がある。

令和7年度 出張授業 状況のまとめ

主催：春日部市教育委員会

事業名	出張授業 「軽スポピック」	対象	市内小・中・義務教育学校 特別支援学級児童・生徒 及び小学校クラブ活動	参加数	314人
ねらい	・「する」スポーツの促進のため、軽スポーツやパラリンピック種目の普及を図る。 ・特別支援学級及び小学校クラブ活動に在籍する児童・生徒が、生涯にわたりスポーツに親しむ素地を養う。 ・市民のスポーツの習慣化を図る。				
周知方法	市内小・中・義務教育学校校長研究協議会において連絡				
会場	市内小・中・義務教育学校の体育館及び校庭				
期 間	令和7年9月2日～令和7年12月17日	種 目	軽スポーツ		

○参加者数

学校名	日にち	児童・生徒数	種目
春日部中	9月2日（火）	26人	ラダーゲッター、スマイルボウリング
正善小	9月8日（月）	10人	モルック
大增中	9月9日（火）	12人	ボッチャ
備後小	9月10日（水）	9人	スマイルボウリング モルック
江戸川小中	9月12日（金）	10人	ボッチャ
武里中	9月17日（水）	14人	モルック
武里小	10月23日（木）	19人	ラダーゲッター
武里南小	10月30日（木）	10人	ボッチャ
粕壁小	11月5日（水）	23人	スマイルボウリング、 ボッチャ
幸松小	11月10日（月）	20人	ラダーゲッター
中野小	11月11日（火）	17人	ボッチャ、 ラダーゲッター
春日部南中	11月21日（金）	13人	ボッチャ、 ラダーゲッター
桜川小	11月27日（木）	30人	スマイルボウリング、 ボッチャ
小渚小	12月2日（火）	9人	スマイルボウリング、 ボッチャ
武里西小	12月4日（木）	34人	ラダーゲッター、 スマイルボウリング
川辺小	12月11日（木）	20人	モルック、 ボッチャ
緑小	12月15日（月）	19人	モルック、 ボッチャ
内牧小	12月17日（水）	19人	ミニテニス
合計		314人	-

※幸松小学校は、授業参観において実施

○種目別実施数

種目	回数
ボッチャ	10
ラダーゲッター	6
スマイルボウリング	7
モルック	6
ミニテニス	1

○前年度との比較

令和7年度					
学校数（小・中）		児童・生徒数		合計	
14校	4校	249人	65人	18校	314人
令和6年度					
学校数（小・中）		児童・生徒数		合計	
12校	3校	218人	46人	15校	264人
比較増減					
学校数（小・中）		児童・生徒数		合計	
2校	1校	31人	19人	3校	50人

成果・参加者の声など	「チームワークを発揮したり、年齢に関わらず活躍できたり、相手チームを応援したりとこどもたちの良いところが見られました。」「勝ち負けにこだわらず、楽しく取り組むことの大切さは、今後の授業でも生かしていきたいです。」などの声があり、普段はみられない一面が垣間見れたり、軽スポーツをその後の授業に活かしていただくなど大変好評でした。
課題と展望	「説明は分かりやすかったが、小学1年生もいたので視覚支援を入れると更に分かりやすかった」、「1年生と6年生では体格差も大きいためルールを分けた説明があると良かった」といった意見もあり、より分かりやすい説明ができるよう工夫していく必要があると考えます。

(2) 体力づくり

共催：春日部市教育委員会、春日部市スポーツ推進委員協議会

事業名	健康づくりのつどい	対象	市内在住、在学、在勤者 (小学4年生～一般)	参加数	776人
ねらい	「誰でも制限なく参加できるニュースポーツのつどい」 ・市民にフラバレーボールの普及とその組織化を図る。 ・地域のコミュニティ推進を図る。 ・市民のスポーツの習慣化を図る。				
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ推進委員協議会		周知方法	広報かすかべ チラシの配布 等	
会場	《市内7か所の小学校体育館》 上沖小・内牧小・立野小・武里小 牛島小・藤塚小・川辺小		受付方法	直接会場	
期 間	5月10日～9月27日までの土曜日		種 目	フラバレーボール等	
回 数	全会場 合計45回		時 間	主に19:00～20:30	

○参加者数

会 場		大人	子ども	合計
粕壁	上沖小	59人	45人	104人
内牧	内牧小	66人	5人	71人
豊春	立野小	81人	17人	98人
武里	武里小	133人	24人	157人
幸松	牛島小	82人	28人	110人
豊野	藤塚小	102人	45人	147人
庄和	川辺小	72人	17人	89人
合 計		595人	181人	776人

○前年度との比較

令和7年度		
大人	子ども	合計
595人	181人	776人
令和6年度		
大人	子ども	合計
485人	174人	659人
比較増減		
大人	子ども	合計
110人	7人	117人

成果・参加者の声など	春日部市発祥のニュースポーツ「フラバレーボール」の普及に取り組みました。特に今年度は、子どもの参加者割合が高く、幅広い世代が交流する場となりました。 「とても楽しく、また参加したい」、「来年もぜひ参加したい」などの声が多く、とても好評でした。 リピーターの参加も多く、回数を重ねる度に技術の向上がみられました。
課題と展望	本年度は7地区7会場において、全45回の教室を実施しました。 毎回継続して参加して下さる方が多い事業であるが、はじめて参加される方や家族で参加される方が少しずつ増えてきました。 今後もより多くの人に参加していただけるように、市の大きなイベントや隣接する地区の実施日が被らないように日程を調整するなど、周知方法や開催時間等を工夫していく必要があります。

主催：春日部市教育委員会

事業名	民間等プール利用事業	対象	市内在住者	利用者	874人
ねらい	民間等プールを利用する市民に対し、利用補助券を交付することにより、市民の健康増進及びスポーツの進行を図る。				
会場	民間プール：東武スーパープール（東武動物公園）				
	県営プール：しらこぼと水上公園				
周知方法	市公式HP、市公式SNSでの情報発信				
発行場所	スポーツ推進課、各地区の公民館（8館） 体育施設（総合体育館、市民体育館、市民武道館、庄和体育館）				
期 間	7月12日～営業終了期間 （民間プール：9月15日まで、県営プール：9月7日まで）				

令和7年度補助金	291,800円
令和6年度補助金	178,300円
増減	113,500円

発行枚数		東武スーパープール			しらこぼと水上公園			総計
		中学生以上	小学生以下	計	高校生以上	小中学生	計	
	R7	952枚	471枚	1,423枚	1,206枚	810枚	2,016枚	3,439枚
	R6	896枚	403枚	1,299枚	1,242枚	853枚	2,095枚	3,394枚
	増減	56	68	124	△36枚	△43枚	△79枚	45

延べ利用人数		東武スーパープール			しらこぼと水上公園			総計
		中学生以上	小学生以下	計	高校生以上	小中学生	計	
	R7	309人	202人	511人	212人	151人	363人	874人
	R6	159人	102人	261人	272人	206人	478人	739人
	増減	150人	100人	250人	△60人	△55人	△115人	135人

成果 参加者の声など	市民プールの休止に伴い、平成23年度から始まった本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年度から4年度まで実施を中止していましたが、令和5年度から4年ぶりに再開し、今年度は再開後3年目となりました。令和6年度の課題から周知方法を工夫し、周知を積極的に行いました。補助券の発行枚数は、令和6年度より45枚増加、実際の利用人数は、令和6年度より136人増加しています。
課題と展望	県営プール（しらこぼと水上公園）の令和6年度からの減少の要因として、令和7年度から通常料金が大幅に値上がったが（大人は730円から1100円、小人は、210円から300円）、補助金額は100円で令和6年度と同様であり、割引率が下がったことが発行枚数減の一因と考えられます。 次年度においても、周知を積極的に行い、補助券利用の促進を図ります。

(3) スポーツ大会

主催：春日部市、春日部市教育委員会、春日部市スポーツ協会

事業名	春日部大風マラソン大会	対象	中学生 ～一般	エントリー者数	5,916人
ねらい	全国へ「大風あげ」を宣伝するとともに、競技役員を体育団体や市民より募り、市内におけるスポーツの振興とボランティア意識の醸成を図る。				
開催期間	令和7年5月4日(日・祝) ※大風あげ祭りの中日に開催	周知方法	・広報かすかべ ・ホームページ掲載 ・開催要項の配布		
会 場	庄和総合公園多目的広場周辺を 起点とするマラソンコース	受付方法	インターネット サイト		
協力機関 及び団体	■後援 春日部陸友会／春日部市レクリエーション協会／春日部市スポーツ少年団／春日部市スポーツ推進委員協議会／春日部市自治会連合会／春日部商工会議所／庄和商工会／公益社団法人春日部青年会議所／春日部ロータリークラブ／春日部西ロータリークラブ／春日部南ロータリークラブ／春日部イブニングロータリークラブ／春日部ライオンズクラブ／春日部中央ライオンズクラブ／読売新聞さいたま支局／埼玉新聞社 ■協賛 匠大塚株式会社／イオン春日部店・イオンモール株式会社／ネットヨタ東埼玉株式会社／株式会社伊藤園春日部支店／ウエルシア春日部藤塚店／株式会社セキ薬品／株式会社アスレプランニング／株式会社モンテローザ／株式会社ファイブイズホーム／株式会社ミツハシ／春日部市「庄和大風文化保存会」／一般社団法人春日部市観光協会				
課題と展望	今年度は、昨年度の種目に孫RUNというの種目を追加し、開催した。エントリー者数は前回から475人増し、北は北海道から南は沖縄県まで、39都道府県からの参加がありました。一方で、ハーフは5,000人の定員に対し、前回に引き続きエントリーは4,000人に満たなかったため、今回定員に達した10kmや、孫RUNなどの定員を増やすなど、定員の設定等について再検討が必要です。今後も多くのランナーに再び参加したいと思っただけのような大会づくりを目指していきます。				

令和7年度（第37回大会）	9,000,000円	(補助金)
令和6年度（第36回大会）	8,000,000円	(補助金)
増 減	1,000,000円	

○種目別エントリー者数

	第37回大会	第36回大会	増 減
ハーフコース	3,510人	3,777人	△ 267人
10Kコース	1,091人	544人	544人
5Kコース	1,052人	1,012人	40
2Kコース (孫RUN含む)	263人	108人	108人
合 計	5,916人	5,441人	475人

主催：春日部市、春日部市教育委員会
 （春日部市スポーツ推進委員協議会への委託事業）

事業名	健康スポ・レクフェスタ 2025	委託金	163,000円
ねらい	様々な軽スポーツ・レクリエーションの体験を通して、市民の健康増進、体力向上及び地域住民の交流を推進するとともに、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。		
開催期間	令和7年8月24日（日）	会場	総合体育館 （ウイング・ハット春日部）
対象	市内在住・在勤・在学者	種目	軽スポーツ・ニュースポーツが体験できる 全12コーナー
協力機関及び団体	—	周知方法	ポスター掲示 チラシ配架 等
成果・参加者の声など	今年度も老若男女問わず多くの参加者で盛況のうちに終わることができました。 今回から3つのゾーンに分け、参加者からは、「いろいろな軽スポーツが知れて良かった」といった声か聞かれ、様々なスポーツに触れる機会となりました。		
課題と展望	「1ゲームを手軽にできるようにしてほしい」「種目をこどもと大人で分けてほしい」といった意見もあり、内容をさらに工夫していく必要があります。スポーツ推進委員協議会と連携を図りながら、同事業を活性化させ、参加者に満足していただけるようなイベントにしていきたいです。		

○年齢別参加者数

～10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
39人	1人	12人	17人	13人
60歳代	70歳以上	不明	合計	
14人	30人	48人	174人	

○地区別参加者数

粕壁地区	内牧地区	豊春地区	武里地区	幸松地区	豊野地区	団地地区
27人	4人	36人	23人	5人	2人	1人
庄和地区	市外・不明	合計				
12人	64人	174人				

○前年度との比較

令和7年度	174人
令和6年度	170人
増減	4

春日部市民体育祭実行委員会への委託事業

事業名	市民体育祭地区大会	対象	制限なし	参加数	13,453人
ねらい	「スポーツの日」の趣旨に基づき、市民各層がスポーツ・レクリエーションを楽しみ、一層の関心と理解を深める。 スポーツ・レクリエーションの普及・発展により、健康の維持・増進と体力の向上及びスポーツ精神の高揚を図る。 コロナ禍において創意工夫し、スポーツ・レクリエーションを通して、明るく楽しい文化的な生活の向上を図る。				
協力機関及び団体	自治会連合会等	周知方法	広報かすかべ、公民館だより等		

○前年度との比較

地区名	期 日	会 場	参加人数			委託料
			令和7年度	令和6年度	増 減	
粕 壁	10月5日	春日部中学校	2,080人	2,209人	-129人	747,000円
内 牧	10月12日	内 牧 小学校	1,000人	700人	300人	458,000円
豊 春	10月5日	豊 春 小学校	1,700人	-	1,700人	677,000円
武 里	10月12日	備 後 小学校	2,700人	2,600人	100人	778,000円
幸 松	10月12日	東 中学校	2,000人	1,600人	400人	532,000円
豊 野	10月12日	藤 塚 小学校	2,300人	2,300人	0人	503,000円
団 地	10月12日	武里南小学校	173人	190人	-17人	404,000円
庄 和	10月12日	庄和総合公園	1,500人	2,000人	-500人	665,000円
合 計			13,453人	11,599人	1,854人	4,764,000円

春日部市民体育祭実行委員会への委託事業

事業名	市民体育祭種目別大会 (スポーツ協会)	対象	各大会別に設定	参加数	4,849人
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ協会加盟団体		周知方法	広報かすかべ等	

○前年度との比較

団体名	期日	会場	参加人数			委託料
			令和7年度	令和6年度	増減	
野球連盟	9月7日～12月7日	牛島球場ほか	700	720	△ 20	75,175円
ソフトテニス連盟	8月24日、10月12日	谷原中西側テニスコートほか	424	396	28	50,725円
柔道連盟	9月14日	市民武道館	73	84	△ 11	56,295円
空手道連盟	11月16日	アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部	368	358	10	54,085円
スキー連盟	1月31日、2月1日	新潟県湯沢パーク スキー場	25	30	△ 5	43,150円
卓球連盟	9月7日	アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部	326	110	216	53,085円
山岳連盟	10月12日	那須 茶臼岳 (栃木県)	40	42	△ 2	37,835円
陸友会	実施なし	—	0	91	△ 91	0円
ソフトボール協会	7月6日、13日	谷原中西側グラウンド	482	503	△ 21	63,010円
サッカー協会	11月2日～2月15日	谷原中西側グラウンド ほか	950	950	0	55,895円
バレーボール協会	9月14日	アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部	210	220	△ 10	54,235円
バスケットボール協会	9月28日 10月12日、19日	庄和体育館	527	520	7	61,940円
剣道連盟	9月15日	アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部	440	430	10	54,290円
ラグビー協会	9月7日	余熱利用暫定広場 (春日部市環境センター側)	90	0	90	42,800円
テニス協会	9月28日	大沼テニスコートほか	130	150	△ 20	61,940円
弓道連盟	10月5日	市民武道館	64	81	△ 17	37,690円
合計 (令和7年度・15事業)			4,849	4,685	164	802,150円

春日部市民体育祭実行委員会への委託事業

事業名	市民体育祭種目別大会 (レクリエーション協会)	対象	各大会別に設定	参加数	1,563人
協力機関 及び団体	春日部市レクリエーション協会加盟団体		周知方法	広報かすかべ等	

○前年度との比較

団体名	期日	会場	参加人数			委託料
			令和7年度	令和6年度	増減	
サイクリング連盟	活動休止中	-	-	-	-	0円
レクリエーション 卓球協会	6/30 9/10	市民体育館 ウイング・ハット 春日部	122	140	△ 18	53,000円
ボウリング連盟	9/23	ターキーボール	70	71	△ 1	52,700円
歩こう会	9/6	盤峰園 (栃木市)	71	80	△ 9	53,000円
バドミントン協会	11/9	アイル・アリーナ ウ イング・ハット 春日部	140	132	8	53,000円
ラジオ体操連盟	活動休止中	-	-	-	-	0円
野外活動連盟	11/16	川鍋みかん園 (ライスハウスか わなべ)	60	80	△ 20	52,700円
ゴルフ協会	9/25	千葉CC梅郷コース (野田市)	112	129	△ 17	53,000円
ダンス連盟	実施予定なし	-	-	206	-	0円
ママさんバレー ボール協会	10/5	アイル・アリーナ ウ イング・ハット 春日部	238	192	46	53,000円
民踊連盟	10/6	市民体育館	87	101	△ 14	53,100円
グラウンドゴルフ連盟	10/16	谷原中西側 グラウンド	230	198	32	53,000円
インディアカ協会	6/1	庄和体育館	105	73	32	53,000円
ターゲットバード ゴルフ協会	10/19	春日部TBGコース (旧谷原中西側グラウ ンド多目的広場)	82	60	22	52,700円
ソフトバレー ボール協会	8/3	アイル・アリーナ ウ イング・ハット 春日部	200	160	40	52,100円
ミニテニス協会	8/31	庄和体育館	46	-	46	52,100円
ビーチボール協会	活動休止中	-	-	-	-	0円
合計 (令和7年度・14事業)			1,563	1,622	△ 59	686,400円

春日部市民体育祭実行委員会への委託事業

事業名	市民体育祭種目別大会 (スポーツ少年団)	対象	各大会別に設定	参加数	2,425人
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ少年団加盟団体		周知方法	スポーツ春日部等	

○前年度との比較

団体名	期日	会場	参加人数			委託料
			令和7年度	令和6年度	増減	
野球部会	9/14、15、20、27	牛島野球場ほか	600	600	0	88,200円
剣道部会	中止	-	-	-	-	0円
ソフトボール部会	中止	-	-	-	-	0円
サッカー部会	5/5	谷原中西側グラウンド	600	500	100	144,500円
柔道部会	11/23	市民武道館	73	97	△ 24	34,400円
ミニバスケットボール部会	11/16	庄和体育館	270	330	△ 60	56,000円
バレーボール部会	7/19	アイル・アリーナ ウイング・ハット 春日部	882	490	392	26,900円
ソフトテニス部会	中止	-	-	38	-	0円
合計（令和7年度・5事業）			2,425	2,055	408	350,000円

※中止となった大会については委託料を返還

(4) 表彰

主催：春日部市、春日部市教育委員会、春日部市スポーツ協会

事業名	春日部市スポーツ賞表彰式	表彰者数	61団体 ・ 355名
ねらい	春日部市のスポーツ振興・発展に貢献し、その功績が顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を顕彰する。		
開催期間	令和8年3月21日（土）	会場	粕壁市民センター （中央公民館）講堂
対 象	春日部市スポーツ協会スポーツ賞表彰規程の該当者で、選考委員会で承認された者。		
表彰者数	功労賞 計 2名 スポーツ奨励賞（個人）55名（団体）44団体 95名 計 150名 優秀選手賞（個人）27名（団体）16団体 159名 計 186名 最優秀選手賞・島村基金賞（個人）4名（団体）1団体 11名 計 15名 優秀指導者賞・島村基金賞（個人）2名 計 2名 合計（個人）88名（団体）61団体 265名 計 355名		
協力機関 及び団体	春日部市スポーツ協会	周知方法	広報かすかべ 各団体に通知
課題と展望	本年度は、受賞者355名の内、式典への出席者が171名（出席率48.1%）となり、令和6年度の出席者133名（代理登壇含む）（出席率35.6%）から38名増となりました。 小学生の部では空手や柔道、剣道、水泳、陸上、体操、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、ダンス等、中学生の部では空手や水泳、陸上、野球、バスケットボール、ダンス等で優秀な成績を修めた多くの方が受賞されています。 市民のスポーツ活動がより一層活発となり、今後も多くの選手が様々な種目で活躍され、表彰されることを期待します。		

○前年度との比較

	団体数	人 数
令和7年度	61団体	355名
令和6年度	61団体	374名
増 減	0団体	△ 19名

(5) 後援

日 程	行 事 名	対 象	種別	参加人数	会 場
11/16	第11回フラバレーボール 交流大会	春日部市スポーツ推進委員協議会	大会	155人	市民体育館
2/1	スポーツ少年団 第45回ミニ駅伝大会	春日部市スポーツ少年団	大会	578人	庄和総合公園

(6) スポーツ推進審議会

日 程	審 議	会 場	審 議 事 項 等
6/26	第1回審議会	本庁舎4階 委員会会議室	【審議事項】 ・春日部市のスポーツ行政に望むことについて ・その他 【報告事項】 ・令和7年度 春日部市民体育祭について ・令和6年度事業報告（スポーツ推進のまとめ）について
12/25	第2回審議会	本庁舎2階 会議室203	【審議事項】 ・令和8年度 春日部市スポーツ推進計画の策定について 【報告事項】 ・令和7年度 春日部市スポーツ推進計画の実施状況について ・指定管理者の指定について ・部活動の地域展開について
3/25	第3回審議会	本庁舎4階 委員会会議室	【審議事項】 ・令和8年度 春日部市スポーツ推進計画の策定について 【報告事項】 ・令和7年度 春日部市スポーツ推進計画の実施状況について ・令和7年度 春日部市スポーツ賞について

(7) スポーツ推進委員協議会

ア 研修会・協議会等

日 程	事 業	内 容	会 場
4/12	総会	・令和6年度事業報告について ・令和6年年度決算報告について ・令和7年度事業計画(案)について ・令和7年度予算(案)について 他	市役所ひだまりホール
6/8	定期研修	救命講習会	谷中小記念館
8/24	健康スポ・レクフェスタ	健康スポ・レクフェスタ2025	総合体育館
11/14	定期研修	フラバレーボール審判講習会	総合体育館
11/16	交流大会	第11回フラバレーボール交流大会	市民体育館
3/7	現地研修会	吉見町スポーツ推進委員との親睦交流、ピックルボール実技研修	吉見町民体育館

イ 出張

日 程	内 容	会 場	人数
6/27、28	関東スポーツ推進委員研究大会	山梨県甲府市	2人
7/12	埼玉県スポーツ推進委員セミナー	上尾市	2人
9/20	社会体育合同研修会	吉川市	4人
11/13、14	全国スポーツ推進委員研究協議会	長野県長野市	3人
3/1	埼葛地区交流モルック大会	宮代町	10人

(8) スポーツ団体会議等

開催月	春日部市スポーツ協会	春日部市レクリエーション協会	春日部市スポーツ少年団
4月	・第1回四役会 ・第1回理事会	・第1回四役会 ・第1回理事会	・表彰式 ・定時評議員会
5月	・定時評議員会	・定時評議員会	・指導者協議会代議員会 ・運動適性テスト 【個別実施】
6月	・第2回四役会 ・鈴木基金運営委員会 ・助成金審査委員会 ・第2回理事会 ・第1回70周年記念誌編集委員会	・第2回四役会 ・助成金審査委員会 ・第2回理事会	・第1回常任委員会 ・リーダー育成研修会
7月	・第2回70周年記念誌編集委員会 ・公益信託春日部市スポーツ振興島村基金運営委員会		
8月	・第3回四役会 ・第3回理事会 ・第4回70周年記念事業実行委員会	・第3回四役会 ・第3回理事会	・親子スポーツのつどい役員会
9月			・親子スポーツのつどい
10月	・70周年記念誌配布会		・第2回常任委員会
11月		・第4回四役会 ・第4回理事会	
12月	・スポーツ賞選考検討委員会 ・第4回四役会(スポーツ賞選考委員会) ・第5回70周年記念事業実行委員会 ・第4回理事会		
1月	・合同懇親会	・合同懇親会	・ミニ駅伝大会役員会
2月	・合同研修会	・第5回四役会 ・第5回理事会 ・レクリエーション大会 ・合同研修会	・ミニ駅伝大会 ・母集団育成研修会 ・第3回常任委員会
3月	・スポーツ賞表彰式		・第4回常任委員会

(9) スポーツ行事関係の主な会議

会 議 名	開催月	対 象	会 場
春日部市民体育祭実行委員会	5月	関係団体代表者等	春日部市教育センター 視聴覚ホール

(10) 利用調整会議

会議名	対象施設	開催日	会場
粕壁地区学校開放 利用調整会議	粕壁小・八木崎小 上沖小・緑小	6・9・12・3月 第2金曜日	春日部市役所 コミュニ棟1階 ひだまりホール
内牧地区学校開放 利用調整会議	内牧小	6・9・12・3月 第1金曜日	内牧地区公民館
豊春地区学校開放 利用調整会議	豊春小・立野小・宮川小	6・9・12・3月 第2金曜日	豊春地区公民館
武里地区学校開放 利用調整会議	武里小・備後小・正善小	6・9・12・3月 第2金曜日	武里地区公民館
幸松地区学校開放 利用調整会議	幸松小・牛島小・小渕小	6・9・12・3月 第1金曜日	幸松地区公民館
豊野地区学校開放 利用調整会議	豊野小・藤塚小	6・9・12・3月 第2金曜日	豊野地区公民館
団地地区学校開放 利用調整会議	武里南小・武里西小	6・9・12・3月 第1金曜日	武里南地区公民館
庄和地区学校開放 利用調整会議	南桜井小・桜川小 川辺小・中野小	6・9・12・3月 第1金曜日	庄和体育館
体育施設利用調整会議	市内体育施設 外郭放水路多目的広場	12月7日(土)	総合体育館

(11) 情報収集・結果のまとめ・広報活動

種 別	内 容	発行月	発行部数
令和6年度スポーツ推進のまとめ	令和6年度事業のまとめ	5月	50部
体育事業の啓発啓蒙	広報かすかべ・ホームページ等	4～3月	全世帯分
資料収集	社会体育関係市内外研修資料	4～3月	必要数
施設利用実態調査	公共社会体育施設・学校施設開放	4～3月	必要数
令和7年度スポーツ春日部	令和7年度のスポーツ大会予定等 (市・スポ協・レク協・スポ少で共同発行)	3月	1000部

(12) 学校体育施設開放事業 開放期間：4月～3月 (校：校庭 体：体育館)

地区	開放校	利用団体数			利用人数			登録団体数
		校庭	体育館	計	校庭	体育館	計	
粕壁	粕壁小学校	249	203	452	5,831	5,801	11,632	校 27 体 10
	八木崎小学校	156	129	285	5,668	3,345	9,013	
	上沖小学校	230	149	379	7,180	2,930	10,110	
	緑小学校	275	61	336	6,667	1,830	8,497	
	小 計	910	542	1,452	25,346	13,906	39,252	
内牧	内牧小学校	282	181	463	19,690	3,233	22,923	校 4 体 2
	小 計	282	181	463	19,690	3,233	22,923	
豊春	豊春小学校	154	124	278	4,060	2,624	6,684	校 12 体 7
	立野小学校	264	111	375	5,400	1,898	7,298	
	宮川小学校	118	78	196	4,626	922	5,548	
	小 計	536	313	849	14,086	5,444	19,530	
武里	武里小学校	220	130	350	5,965	4,715	10,680	校 8 体 9
	備後小学校	214	133	347	6,890	2,926	9,816	
	正善小学校	315	158	473	16,743	11,112	27,855	
	小 計	749	421	1,170	29,598	18,753	48,351	
幸松	幸松小学校	107	94	201	7,597	1,880	9,477	校 7 体 7
	牛島小学校	366	111	477	11,603	1,652	13,255	
	小渕小学校	225	145	370	5,506	1,942	7,448	
	小 計	698	350	1,048	24,706	5,474	30,180	
豊野	豊野小学校	114	112	226	1,710	2,905	4,615	校 2 体 4
	藤塚小学校	106	95	201	5,300	2,810	8,110	
	小 計	220	207	427	7,010	5,715	12,725	

地区	開放校	利用団体数			利用人数			登録団体数
		校庭	体育館	計	校庭	体育館	計	
団地	武里南小学校	259	289	548	4,107	8,962	13,069	校 8 体 5
	武里西小学校	146	84	230	5,407	2,159	7,566	
	小 計	405	373	778	9,514	11,121	20,635	
庄和	南桜井小学校	212	75	287	5,830	1,350	7,180	校 6 体 12
	川辺小学校	58	94	152	2,030	4,015	6,045	
	桜川小学校	261	307	568	7,529	5,169	12,698	
	中野小学校	179	139	318	5,266	2,040	7,306	
	小 計	710	615	1,325	20,655	12,574	33,229	
合 計		4,510	3,002	7,512	150,605	76,220	226,825	校 74 体 56

(13) 学校校庭夜間照明施設 開放期間：4月～3月

開放校	利用回数	利用人数
東中学校	114	3,377
武里中学校	179	11,905
緑中学校	244	13,180
大増中学校	164	7,609
合 計	701	36,071

(14) 体育施設利用状況

ア 有料施設 4月～3月 ※牛島野球場・庄和球場のみ、12月～2月は休場期間（3月は一部開場）

施 設 名		利用件数	利用人数
総合体育館	メインアリーナ	5,592	149,492
	サブアリーナ	5,956	52,104
	トレーニング室	44,883	44,883
	会議室等	2,218	29,014
	計	58,649	275,493
市民体育館	アリーナ	4,346	68,751
	談話室	286	2,373
	計	4,632	71,124
庄和体育館	アリーナ	4,630	68,647
	卓 球 場	7,922	26,326
	トレーニング室	17,827	17,827
	格 技 室	1,001	14,968
	会議室等	364	3,288
	計	31,744	131,056
武道館	第1道場	1,466	25,214
	第2道場	1,985	32,276
	弓 道 場	738	19,753
	会議室等	331	3,705
	計	4,520	80,948
大沼運動公園グラウンド	野球場	287	7,826
	陸上競技場 兼サッカー場兼ラグビー場	360	0
	テニスコート（硬式・軟式）	4,514	39,995
	計	5,161	47,821
牛島野球場		272	14,281
庄和球場		214	13,451
立沼テニス場		1,066	12,681
庄和テニスコート		4,771	29,750
南栄町グラウンド		248	5,964
谷原グラウンド		359	0
合 計		111,636	682,569

イ 無料施設 4月～3月

施 設 名	利用回数	利用人数
谷原中西側グラウンド	374	40,329
牛島多目的グラウンド	266	12,800
内牧グラウンド	286	8,908
中野グラウンド	272	36,954
首都圏外郭放水路多目的広場	144	8,944
谷原中西側テニスコート	1,713	25,766
豊野テニスコート	133	1,701
禿地グラウンド	155	3,351
金崎グラウンド	168	6,719
旧谷原中学校多目的グラウンド	582	39,613
合 計	4,093	185,085

有料・無料体育施設 合 計	利用回数	利用人数
	115,729	867,654

4 まとめ

令和7年度は、各種スポーツ教室や健康づくりのつどい、地域巡回スポーツ教室など、市民の健康増進やスポーツ・レクリエーション活動の推進を目的とした事業を実施するとともに、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めました。

スポーツ大会では、本市の一大スポーツイベントである春日部大風マラソン大会を開催し、多くのランナーやボランティアの参加により、大会を実施することができました。

また、各種スポーツイベントや教室については、開催内容や実施方法の見直しを行いながら、市民のだれもが参加しやすく、継続してスポーツに親しむことができるよう、「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進を図りました。さらに、プロスポーツチーム等との連携事業を通じて、スポーツへの関心や地域への愛着を高める取組を進めました。

今後については、令和7年度の各種事業の成果や課題を踏まえ、市民ニーズや社会情勢の変化に対応しながら、より安全で魅力あるスポーツ事業の実施に努めるとともに、市民の主体的なスポーツ活動の活性化につながる取組を推進していく必要があると考えます。

体育施設については、学校体育施設開放事業及び有料・無料体育施設について、多くの市民に利用されている一方で、施設の老朽化への対応が課題となっています。このため、スポーツ施設マネジメント基本計画及び総合体育施設整備基本計画に基づき、計画的な施設整備を進めるとともに、大沼陸上競技場のリニューアル整備を推進しました。

また、令和8年度に開催される「ねんりんピック彩の国さいたま2026」に向け、関係部署や関係団体と連携しながら、大会開催に向けた取組を進めました。

今後も利用者の安心・安全に配慮し、だれもが生涯を通じて安心してスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境づくりに努めていきたいと考えます。